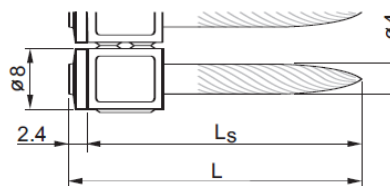


## 製品情報

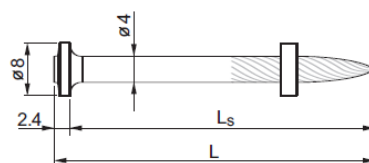
### X-U15\_72MX, X-U16\_72P8

#### 1. 仕様図

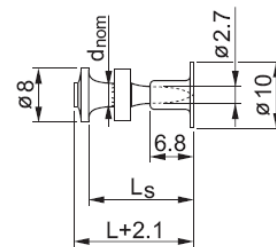
X-U\_\_MX



X-U\_\_P8



X-U 15 P8TH



#### 2. 材質

1.1230/C65S1-EN 10218-2 (JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材改良材)

#### 3. ロックウェル硬さ

HRC 58

HRC 59 (X-U15)

#### 4. 表面処理

電気亜鉛めっき 5-13 $\mu$ m

#### 5. コンクリート母材

X-U22 平均引抜強度: 3.18kN 変動係数: 37.8% 貫入長: 20.1mm コンクリート圧縮強度: 54.7 N/mm<sup>2</sup>

X-U27 平均引抜強度: 4.04kN 変動係数: 35.4% 貫入長: 24.5mm コンクリート圧縮強度: 30.9N/mm<sup>2</sup>

#### 許容安全荷重\*

コンクリート貫入長27mm以上	引張/せん断	0.4kN
コンクリート貫入長22mm以上	引張/せん断	0.3kN
コンクリート貫入長18mm以上	引張/せん断	0.2kN
コンクリート貫入長14mm以上	引張/せん断	0.1kN

#### \* 条件

- 最小母材厚: 80mm
- 端空き距離: 70mm以上

- 母材圧縮強度 :  $F_{cc} \leq 45\text{N/mm}^2$
- 群留付け (例: 取り付け物ごとに最低5箇所の留付けを行うなど)
- 目視で確認できる失敗打釘があればすべてやり直して下さい

## 6. 鋼材母材

許容安全荷重 X-U16、X-U19 静荷重

取付物厚	引張	せん断
0.75mm	1.0kN	1.2kN
1.00mm	1.2kN	1.8kN
1.25mm	1.5kN	2.6kN
2.0mm	2.0kN	2.6kN

最小母材厚 6mm(鉄板を鋼材へ留付けの場合) 4mm(木材を鋼材への留付け)

最大取付物厚 6mm(下穴必要)

端空き距離15mm以上

取付物が3mm以下

\*下穴必要無し

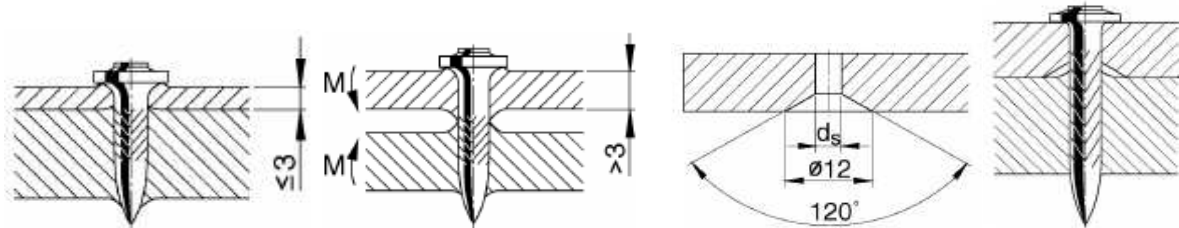
取付物厚が3mmを

越えたと下記のように

にガタツキが生じます

下図のようにシャンク径(4.0mm)

と同じ下穴を空けて下さい



仮留めピンX-U15の許容安全荷重 (デッキ強度 $360\text{N/mm}^2$ 以下) 静荷重

デッキ厚 0.75-1.25mm 引抜: 0.6kN せん断: 0.8kN

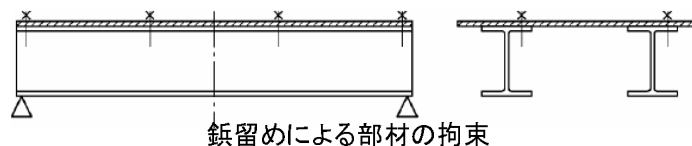
## 7.

注意点

拘束による荷重

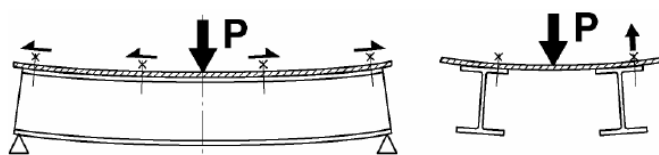
大きな鋼材部を留め付ける場合、拘束による荷重の影響を考慮しなくてはなりません。

この時、せん断の許容安全荷重 $V_{rec}$ を上回ることを避けて下さい。

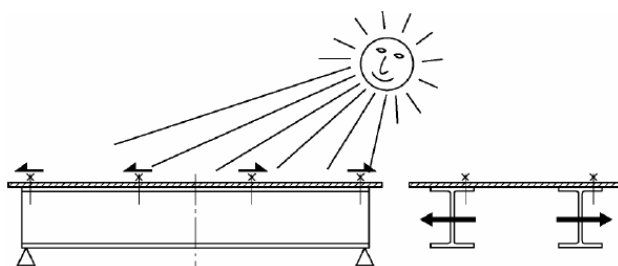


仮留めによる部材の拘束

集中荷重の載荷によるたわみによる変形



温度変化による変形



8. 木材から鋼材への打鋌 最小母材厚:4.0mm 木材取付物厚 15mm~57mm

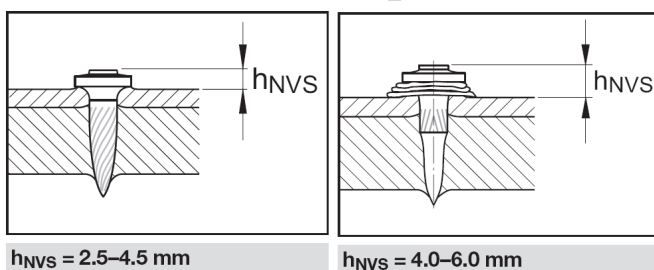
許容安全荷重 引張 0.3kN せん断 0.6kN

9. 鋌立上り

鋼材に打鋌される鋌の立上りは以下の範囲に収まるよう空包選択、威力調整をお願い致します

X-U \_ P8/MX/MXSP

X-U \_ P8TH



2009年11月ヒルティコーポレーション発行、ダイレクトファスニングテクノロジーマニュアルより抜粋

2010年12月20日